

Q6

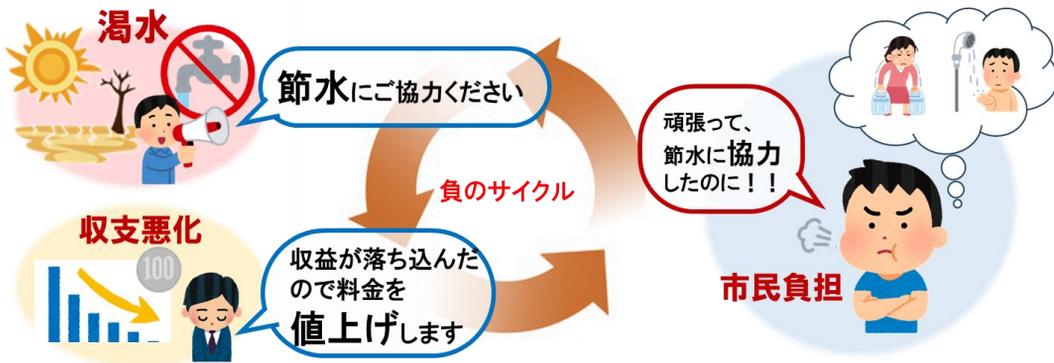
水がないから料金が高いって本当？

A 水源不足のため、渇水によって値上げをしてきた経過があります。また、できるだけ量を抑えて単価に求める「節水型の経営」を強いられています。

「渇水」が「料金値上げ」に繋がってきたこと

水源不足の本市では、平成元年以降に行われた過去2回の料金改定（値上げ）は、いずれも給水制限を伴う渇水を主要因として行われてきた経過があります。

ひとたび渇水に陥ると、節水の取組みが強化され、また給水制限によって強制的に使用水量が制限されます。それにより給水収益が大幅に落ち込み、その不足財源を確保するために、平成9年度に25%、平成22年度に20%の値上げに至っています。



「節水型の経営」とは？

渇水時以外においても、常に「水源を温存する節水型の事業経営」が求められています。

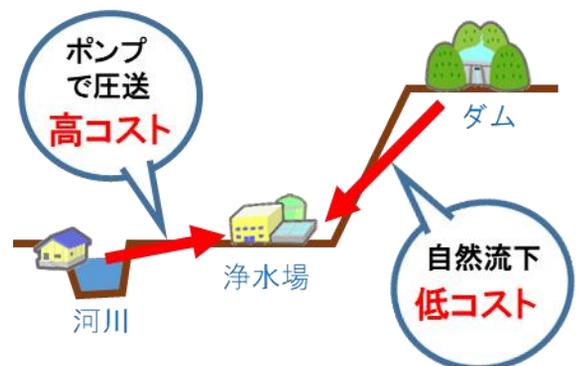
給水収益は「単価×量」で決まりますが、「量」に制約があるため、「単価」に求めざるを得ない状況です。

$$\text{量} \times \text{単価} = \text{収益}$$

ほかに、ダムの水を温存するために、ダム以外の水源を優先的に使用する取水運用等も恒常的に行っています。

ダムの水と比べ、河川からの直接取水はポンプアップのための動力費が必要となるなどコストが多くかかります。

このような運用も、水道料金に影響を与えている要素となっています。



以上のように、「水源不足」が料金を引き上げる要因となっています。